

## 令和元年度第3回清瀬市みどりの環境保全審議会（要旨）

〔日 時〕 令和2年3月23日（月） 15：00～16：30

〔場 所〕 清瀬市役所 第2食堂

〔出席者〕 委 員8名（全員出席）

事務局2名 水と緑の環境課長、緑と公園係1名

〔議事次第〕

1. 「清瀬市みどりの基本計画」の改定（令和2年度）について
2. 下清戸道東特別緑地保全地区の調査結果（令和2年2月実施）
3. 緑地環境保全区域の解除予定について
4. その他

〔配布資料〕

次第、資料1「みどりに関する市民アンケート」、資料2「市民アンケート集計結果」、資料3「みどりの基本計画 庁内検討委員会の要旨」、資料4「ササの生育調査結果」、資料5「緑地環境保全区域の解除予定について」、資料6「清瀬市みどりの基本計画 改定計画の構成案」

### 《1. 「清瀬市みどりの基本計画」の改定（令和2年度）について》

資料1～3の説明後、委員からの意見。

【アンケートの回収率36.5%について】

- ・平易な言葉を使う点、必要な情報の補足には留意したが、難しかったのかもしれない。
- ・イラストなど、視覚要素を入れたほうが、特に若い世代の関心をひけたのではないか。

【小規模公園について】

- ・小規模公園の金銭納付を進めている自治体もある。清瀬市でも可能であれば、小規模公園は使い道に困ってしまうのだから、金銭納付を進めたほうが良い。
- ・狭い公園に遊具を置いても遊びづらいし、大きな公園として集約していくなど、そのあたりの整理が必要ではないか。
- ・市内にも公園不足地域があるので、小さくても公園があったほうが、小さい子どもを持つ家庭からは重宝される可能性もあるので、地域別に考える視点も必要。
- ・散歩する高齢者が多いので、小さな公園を休憩場所として活用するのはどうか。
- ・問14の回答状況を見ると、子どもがのびのびと遊べるスペースの要望が高い。神山公園でもよく遊んでいるが、自転車や車がないと行きづらい。ある程度大きな公園を各地区に確保できるよう、アクセスの観点も考えたほうが良い。

### 【街路樹について】

- ・けやき通りのケヤキは直径 50～60 cm になっていて、さらに生長するので、管理費がかかる。間伐、若木への植え替え、樹種変更など、あり方を検討する時期。人格ならぬ“樹格”を無視した剪定も改善していくべき。
- ・街路樹の防音・防火などの役割を考えると、安易になくすのではなく、常緑ならば落ち葉になりづらいとか、ミツバチのための花木とか、条件に合った樹種は見つかるはず。

## 《2. 下清戸道東特別緑地保全地区の調査結果》

資料 4 の説明。平成 31 年と令和 2 年を比較すると、令和 2 年は本数全体で半減している一方、直径の平均は大きくなり、結果として、重量は 3 年間で 3 kg、4 kg、3.5 kg とあまり変化していない。

会長 「最終収量一定の法則」の通り、個体数が多いと軽く、少なくなれば重くなり、全体の重量は変わらない、ということがよく分かる。今後は、高さが高くなれば他の植物への影響が大きくなるので、高さ和本数の関係があると、違う見方もできる。

## 《3. 緑地環境保全区域の解除予定について》

資料 5 の説明。市条例で緑地環境保全区域に指定しているクヌギ主体の雑木林を市が買収する予定。以下、委員の意見。

- ・資料 5 で、電柱付近の高木が気になる。去年の台風でも落枝がひどかった。  
⇒買収前に、道路から 5m の伐採を所有者にお願いしている。
- ・ここの植生を考えると、5m 幅で切っていいものか。ひとまず中間で切って、ギンランやカントウタンポポを助けたい。中間で切ると、風の通りが一気に変わることもなく、木が環境に慣れる。

## 《4. その他》

資料 6 の説明。大きな改定のポイントは、生物多様性地域戦略の内容の追加。地域戦略の位置づけ、対象とするみどりの対象も広げる案とした。また、地形図や「地域別の生態系の特徴」を設けて、市内には大きく 3 つのエリアがあることを紹介。

最も大きなポイントは基本理念で、現行は、「みどりの維持・管理と利用」「気候変動への対応」「生物多様性の保全」を位置付け、その基本理念に沿って基本方針を 4 つ掲げ、その方針に沿って施策を体系づけている。これに生物多様性地域戦略の観点を組み込むと馴染まないで、事務局としては、基本理念に沿った施策体系を組むのが分かりやすく、生物多様性地域戦略を統合しやすいと考えている。基本理念の一つである「生物多様性の保全」は、そのまま生物多様性地域戦略に該当するので、そこに施策を設けるというようなイメージ。

この構成案をもとに、目標に対して何をやるのか、という施策検討や、肉付けなどして改定を進めていくので、次回以降、意見をお願いしたい。

#### 委員の意見

- ・生物多様性地域戦略について、清瀬の自然を守る会の蓄積してきたデータも反映され、生態系の特徴がでている。清瀬市全域で一様に見るのではなく、地域別の特性が活かされている。清瀬らしさが出るようになると良い。
- ・市の取り組まなければならない課題として、樹林が減少している原因は何なのか、増やすことは難しく、いかに維持していくかが大事なので、どう変わってきたのかの分析をして、どう対応していくかを入れるべき。2 つ目に屋敷林。現状どうなっているのか、どう守っていくのか。屋敷林は個人所有だが、市内にあるみどりとしては大切な市民のみどりである。3 つ目に街路樹のあり方、4 つ目に保存樹木のあり方。
- ・最近、土地の一部を買い取って増築する具体的計画の前に、植生の調査をしたいから協力してほしいというお願いがあった。こういった配慮のある案件が増えていくと良い。
- ・公園のあり方など、アンケート結果を積極的に取り込んで議論する必要がある。

会長 4 章の 31・32 頁の目標と基本方針のなかで、みどりをどう考えていくかがあるので、一般論で終わらせないように、現状の解析を活かして、現実味のある目標設定に向けた提案をお願いしたい。

次回日程：5 月予定

以上